

# 校友會誌

昭和七年十二月

二



關西高等工學校

## 理事長片岡博士の御挨拶

本日我關西工學が創立十周年の記念日を迎ふるに當り多數來賓の御貴臨を忝ふし、斯くも盛大に祝賀の式を擧ぐることを得ました事は本學園理事長として感謝に不堪茲に一言御挨拶申上げたいと思ひます。

現代の文明は科學文明であります。然るに我國のこれ迄を顧みますに歐米先進國の模倣をのみこれ事とした模倣文明の時代でありました。ところが近時に於きまして一般教育の振興に伴ひ斯うした風潮の非なる事が漸く認めらるゝに到りました。之を教育方面に見ましてもこれ迄の人は自分の子供の教育は先づ政治家として或は事務家としてのみが社會へ立つ道なるかの如く考へて居た、そうした人が多くございました。又社會も之を歡迎したのであります。が近時識者の間に於きまして國家富強の基は理化學の向上にありと云ふ事が徐々に自覺されつゝあるのは私達技術家と致しまして誠に同慶に堪へない次第なのであります。ところが現在の學校にて法科商科經濟學科と云ふ様な科目を持つ學校は全國至る處數限りなく設立されて居りまして、此理化學の方面の學校は地方廳等の豫算或は其他種々なる關係に依りまして設立が容易でなく其數も亦非常に少ないのであります。茲に於きまして私達技術家としては非常に之を残念に思ひまして、私達意を同じうする者等多數の努力に依り本學園設立の機運が促進せらるゝに到つたのであります。そこで之と略動機を同じうし少し以前に設立された學校が關西方面にもございますが之は商科と工科の兩方面をやつて居りまして工學の專攻と云ふわけでありませんので、之を補ふ積りで中堅技術者養成を主眼と致し工學專攻の本學園を設立することに到つたのであります。

關東方面には此種私立學校が數多くありますが私は秘かに考へて見ますにどうも其の設立者が社會的に或は學校設立によつて何等か爲にせんとする不純の氣持を抱いて設立してゐるものが多いのであります。此の點に於きまして本學園は大いに天下に誇つてよいのであります。本學園は官邊の補助を受けず又富豪の寄附をも仰ぐ事なしに全く關係者の犠牲的精神の結晶で作られたものであります。世間には毎年官廳より莫大なる金額の補助を受けて設備も堂々たる官公の學校があります。其等の人達の間に混つて、此の諸官廳等の補助を毫も仰がず全く獨立無援只關係諸氏（理事協議員）或は諸講師各位の努力のみに依つて育てられた本學園生徒諸君が少しも遜色なしに伍して行けるのでありますから不思議ではありませんか。所謂『温室育ちの花は弱い』雨に叩たかれ風に曝されて育てられた花こそ外出して本當の粘りある強さを持つものだと考へます。斯くて養成される人格こそ本學園の目標とするものであります。幸に本學園の此の趣旨によつて育てられたる卒業生も既に三千有餘を數ふるに至り私達關係者の所期の目的も漸く貫徹されつゝある事實をみまして喜びに堪へない次第であります。

斯くて在校生諸君と卒業生先輩諸氏との協力は本學園をして益々社會に伸びさせる所以であります。社會にとつしりと根を張つて徐々に其の基を強くして行く、之は決して悶を造つたり排他的になれと云ふ様なわけではありません。即ち先輩諸氏が後輩を導びいて行くと云ふ事は學園の聲價を社會に示す有効なる方法と考へます。

尙今後共關係者諸講師各位に於かせられては益々御鞭撻御指導下さいませ様、又在學生諸君はよく本學の旨を體し益々奮勵され本學園の聲譽を擧げられん事を望み一言御挨拶に代ふる次第であります。